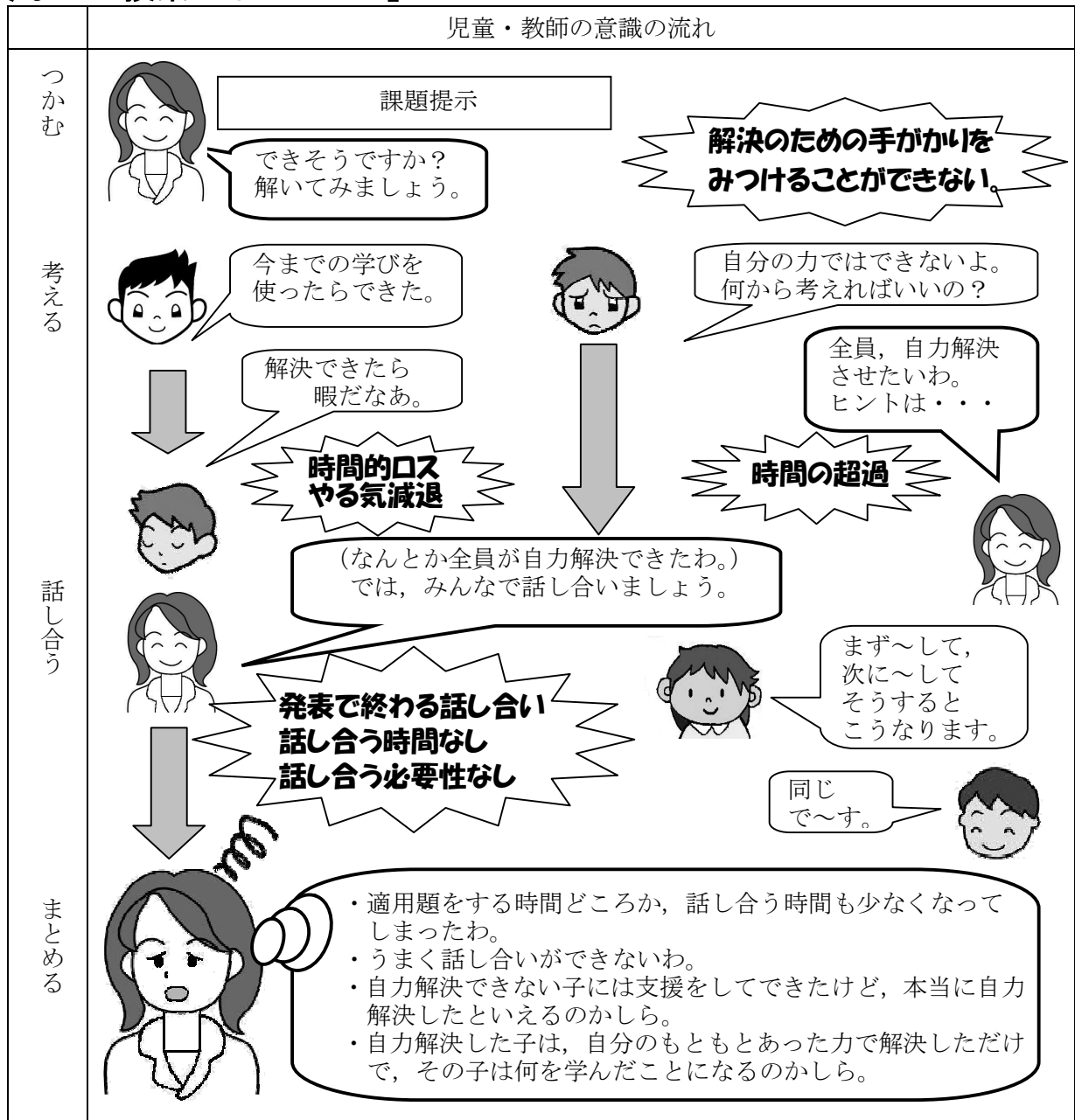


【今までの授業では・・・】



課題の改善策

- ・何かを活かして解こうとする意識化
- ・つけたい力を明確にした授業の工夫
- ・時間配分の検討
- ・話し合いの工夫

「分からない」を活かした話し合い

- ・自力解決の時間を短縮し、児童の「分からない」の言葉を活かすことで、話し合いを深め、活用力を育てる。

3つの学習スタイル

- ・「今までの学び」「友だちの考え」「今日の学び」を活かした授業を展開することで、活用の意識化を図る。

5つのつけたい力

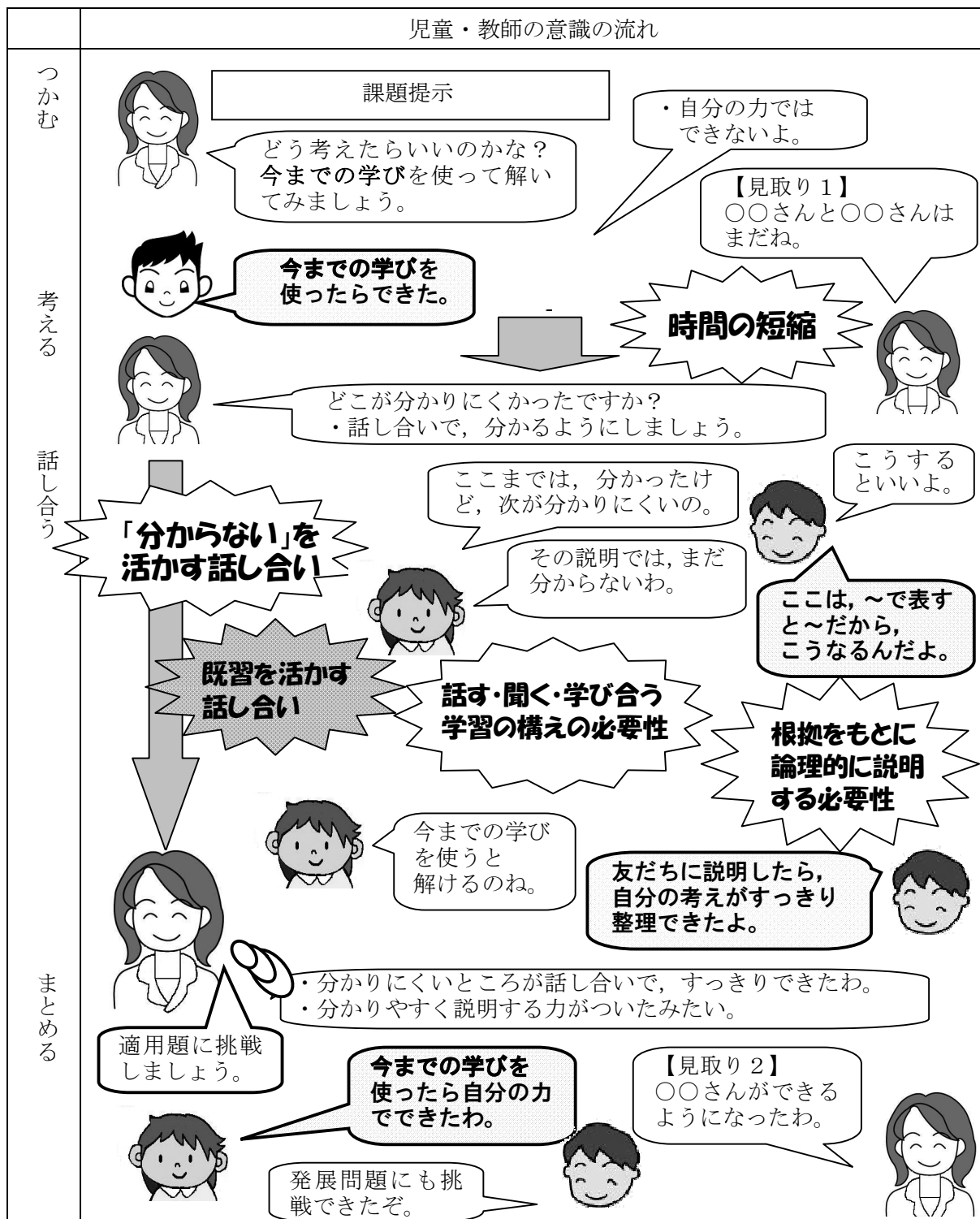
- ・1時間の授業の中につけたい力とその場面を明確にした授業を展開することで、活用力を育てる。

見取りの場の工夫

- ・【見取り1】で、自力解決の様子を把握し、【見取り2】で変容と定着を見る。

「3つの学習スタイル」

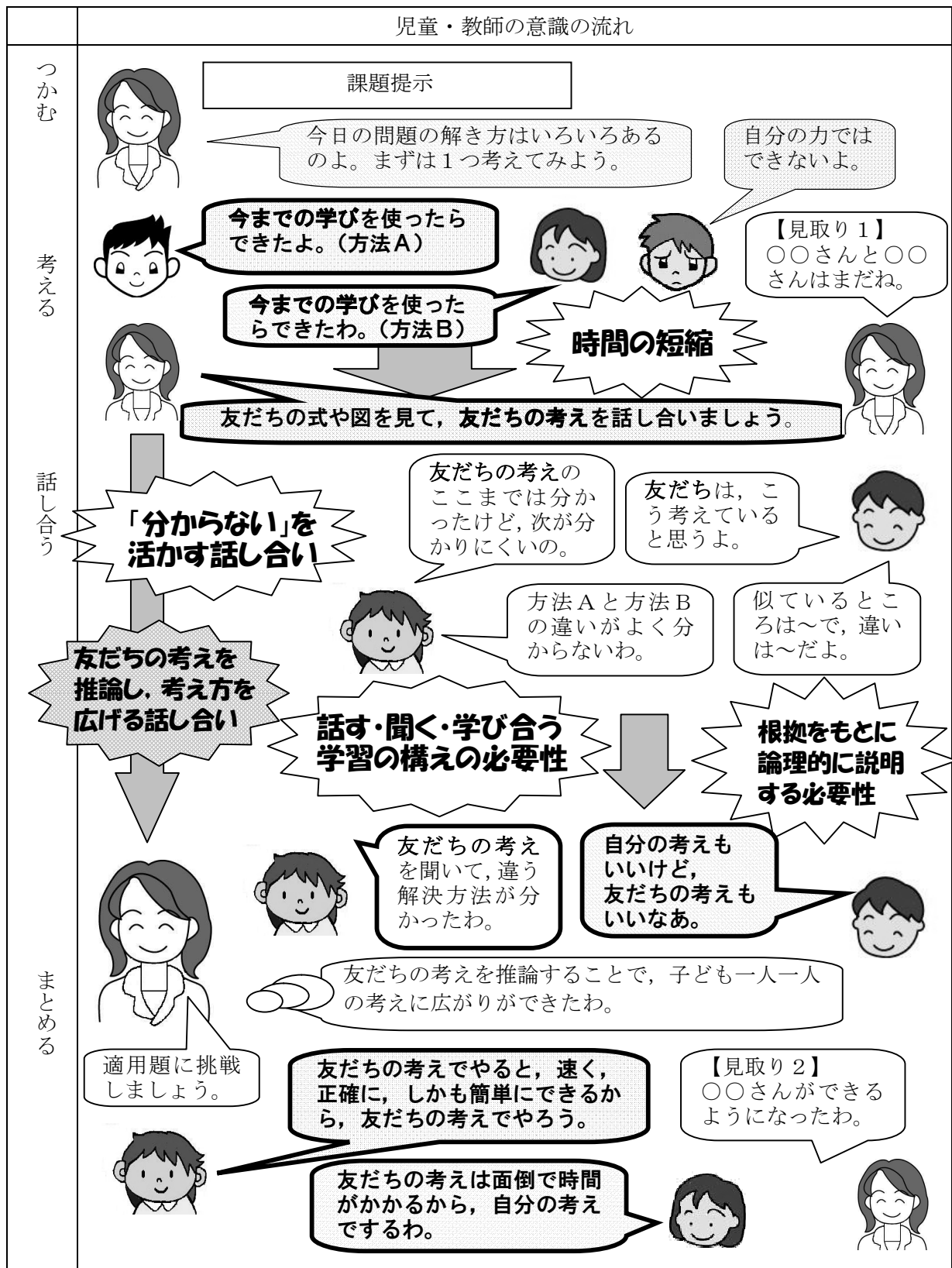
【既習スタイルの授業】



既習スタイルの特徴

- ・「考える」過程で、既習を使って解く。
- ・話し合いは、自分の考えの分からないところや、理解できたところを話し合う。
- ・今までの学びを活かして考えると、問題が解決できることを意識づける。

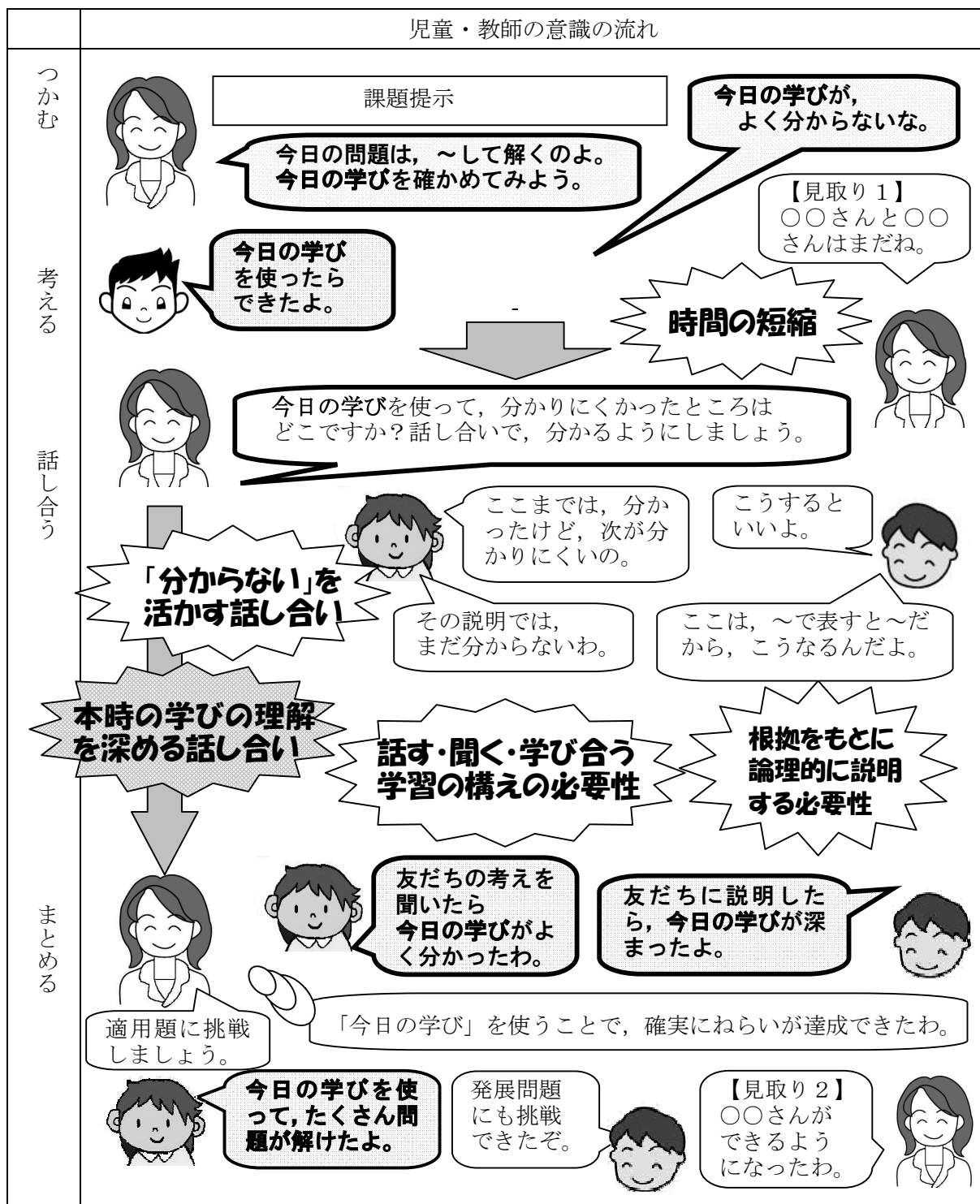
【友だちの考えスタイルの授業】



友だちの考えスタイルの特徴

- ・「考える」過程で既習を使って、1つの方法（時間があれば2つ以上）で解く。
- ・話し合いは、友だちの考えを推論し、話し合う。
- ・友だちの考えを活かして考えると、自分の考えが深まることを意識づける。

【本時の学びスタイルの授業】



本時の学びスタイルの特徴

- ・「つかむ」過程で本時の学び（新しい知識・技能や学び方）を知り、「考える」過程で、確かめる。
- ・話し合いは、本時の学びで分からないところや、理解できたところを話し合う。
- ・今日の学びを活かして考えると、新しい問題も解決できることを意識づける。